

旋盤加工専門の少量生産に強み 高精度な加工での実績多数

平成19年創業のむらまさ工作所は、少量品や試作品の旋盤加工を専門に手がける。全工程を手動で操作する「汎用旋盤」と、一部をプログラム制御で操作する「汎用NC旋盤」を駆使した、多様な顧客ニーズへの対応が強みだ。

産業用機械をはじめとした機械・機器に欠かせない、筒状やリング状の丸物部品の少量加工も行う。長年の経験と技術力を活かし、高精度な加工と短納期での納品を実現。検査機器や試験機械など、精密さが求められる部品の依頼も多い。

住所 | 〒570-0043 大阪府守口市南寺方東通5-23-13

TEL | 06-4250-2615 FAX | 06-6115-5575

創業 | 平成19年7月 設立 | —

資本金 | — 従業員 | 1名

H P | —

■主な事業内容

旋盤加工

■主な取引先（納品先）

鉄工所



極み

歪みの無い真円を 削り出す精度の高い 加工を実現

豊富な経験に裏打ちされた技術力で、歪みのない真円を削り出すことに力を注ぐ。汎用旋盤を使いこなし、切削速度や送り量など最適な条件を調整。手指に伝わる感覚を頼りに微調整することで、難易度の高い形状の加工や、精度の高い加工を実現している。

取り
組み

旋盤加工専門の 町工場として地域経済の 発展に貢献する

旋盤加工の仕事は、一見すると地味で目立つものではない。しかし、ここから生まれる部品は様々な機械の心臓部として機能し、社会を支えている。そんなモノづくりの醍醐味を感じながら地域の産業を支え、また中小企業の町の発展にも貢献している。

今後の
展開

全てが手作業の汎用旋盤。 特長を活かし 高難度にも挑戦

加工形状に合わせて、バイトと呼ばれる切削加工時の刃物を職人自ら研磨して製作。より高品位な製品の提供につなげている。今後は、目と耳と手の感覚で微調整する汎用旋盤操作をさらに追求。顧客からの難しい要望にも積極的に挑戦し、実現していきたい考えだ。

むらまさ工作所



代表

久米村 正信さん

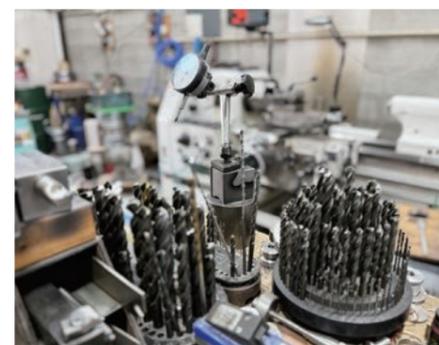
旋盤加工一筋で技を磨き続け 顧客の依頼と真摯に向き合う

私がこの道に入ったきっかけは、高校生の頃に旋盤工だった叔父の鉄工所でアルバイトをしたことでした。鉄を削る際に手指に伝わる感覚の変化と、徐々に形が変わって完成に近づいていく様子を、モノづくりのおもしろさを感じたものです。

以来、旋盤加工一筋に苦手を克服しながら汎用旋盤での経験を積み、技を磨いてきました。この姿勢は、平成19年に独立してからも変わりません。私一人だけの小さな工作所ですが、今後も技術の練磨に励み、お客様からのご依頼一つひとつと真摯に向き合い、より良いモノづくりに取り組んでまいります。



ローラー



3点マイクロメーター φ20~φ100まで



工具類

推しポイント

福利厚生・働く魅力 職場環境

雲の上の存在の
『職人』を目指し
現場に立ち続ける



旋盤加工は奥が深く、熟練の技を習得するには長い年月が必要となる。汎用NC旋盤やさらに自動化が進んだ機械が主流となるなか、高度な技術を要する一品ものや試作品など、汎用旋盤を使いこなせる旋盤工が求められる場面は数多い。しかし、使いこなせる職人は減少の一途を辿っているのが現状だ。久米村代表は、そんな汎用旋盤の技術を極め、どんな難しいものでも精度高く作ることができる『職人』と呼ばれる雲の上の存在を目指して今日も現場に立ち続けている。「決して楽な仕事ではありませんが、モノづくりに魅力を感じた方は工作所を訪ねてください」とメッセージを送る。